

令和5年度 第2回近江八幡市公共下水道事業審議会 会議記録（別紙）

開催日時 令和6年3月11日(月) 10:30～12:00
 開催場所 近江八幡市水道事業所 3階AB会議室
 出席者 ◎西谷会長、○谷上副会長、山下委員、北川委員、小椋委員、
 井上委員、福井委員、伊関委員
 欠席者 梅村委員
 事務局 【水道事業所】福本所長
 【上下水道施設課】(下水道G)石原課長補佐
 【上下水道総務課】西川課長、(業務G)大野課長補佐、(経営G)友岡課
 長補佐、木村主任主事、藤主事

< 内 容 >

	1. 開会
会長	2. 会長挨拶 東日本大震災からちょうど13年、そして今年の能登半島地震があり、上下水道が注目されている。下水道については流すのに高低差が必要であり、復旧の大きな課題となっている。このような時期の審議会ということで、改めて気を引き締めて様々な議論をしていきたい。 私自身も阪神大震災に被災し、つらい思いをした。そういった災害に対し、備えがある近江八幡市であってほしい。
事務局	3. 報告 能登半島地震における市水道事業所の支援活動内容について報告
事務局	4. 議事 (1) 令和6年度予算概要について 【資料1】に基づき説明
会長 事務局	資本費平準化債未利用利子分について説明いただきたい。 下水道管は耐用年数が50年となっているが、企業債は30年間で返済しなければならない。20年分を前倒しで返済することになるので資金繰りが悪化するため、資本費平準化債というものを借り入れる。未利用利子分はそれでも足りない分を借り入れるものであるが、令和6年度については借り入れをしなくても問題ないという見通しと

	<p>なった。</p> <p>(2) 令和6年度事業予定について 【資料2】に基づき説明</p>
事務局	
会長	<p>沖島の事業については特殊と思われるが、国から何らかの補助があるのか。</p>
事務局	<p>国の補助は他の事業と同じであるが、沖島は特定環境保全公共下水道といい、辺地対策事業債という企業債を借り入れている。この起債分については8割程度が国から補てんされる。</p>
会長	<p>淡水湖の人が住んでいる島で希少なものと思われるが、何らかの補助がないのは惜しいと感じる。人が住んでいる限りは上水・下水道は必要である。</p>
	<p>(3) 経営状況について 【資料3】に基づき説明</p>
事務局	
会長	<p>経費回収が追い付いておらず、厳しい経営の中で借金を減らしているという状況。市からの繰入金に加えて、過去の投資分を減価償却費として返済に充てているという流れである。</p>
	<p>(4) 社会資本総合整備計画の事後評価について 【資料4】に基づき説明</p>
事務局	
会長	<p>今の報告により計画どおりに実施したかというのを審議会として確認することになる。資料4-3の効果促進事業費の割合の数値は合っているか。</p>
事務局	<p>誤っている。訂正させていただく。</p>
会長	<p>事業の進捗状況として、令和3年度だけ事業が何も無いが、新型コロナによる影響か。</p>
事務局	<p>国の補助として社会資本整備総合交付金と防災・安全交付金があり、市としては防災・安全交付金の方にシフトしている。令和3年度については事業を行ってはいるが、社会資本整備総合交付金に係るものが無かった。</p>
会長	<p>当初の計画上も令和3年度は予定がなかったのか。</p>
事務局	<p>計画では令和2年度で終了予定であったが、舗装工事が残っていた</p>

<p>会長</p>	<p>ため、令和4年度に追加した。</p> <p>資料4-3の2. IIにおいて、人口普及率の目標82.20%に対して実績83.57%とあり、総人口が減少すると分母が減るので数値が高く出る。総人口の減少を加味すると82.99%であるので、人口減少分を越えて達成されたということになる。</p> <p>それでは、この議題について、事業内容や目標値、実績についてお認めいただき、審議会としてこの内容を確認したこととしてよろしいか。</p>
<p>委員</p>	<p>一同異議無し。</p>
<p>事務局</p>	<p>5. その他</p> <p>今後の審議会予定等について</p>
<p>副会長</p>	<p>6. 閉会</p> <p>本日は貴重なご報告をいただいた。生活に必要不可欠な下水道を管理するだけでも大変であるが、震災によって壊れ、復旧作業はさらに大変であると思い知った。会長からもあったように身が引き締まる思いがした。本日はありがとうございました。</p>